

議 員 全 員 協 議 会 協 議 事 項

日時	令和6年2月21日（水）
	午後1時
場所	第2会議室

○ 所管事項の報告について

- 1 未来共創推進戦略 2024（案）について
- 2 第三魚市場荷捌き所A棟について



第7次八戸市総合計画 未来共創推進戦略 2024(案)

策定の趣旨

総合計画は**5年間の長期計画** ⇒ 個別事業の方針や時代の急変への対応が必要



各年度のまちづくりの成果を最大化するために

年度ごとに **未来共創推進戦略** を策定

- ✓ 予算・人材・資産を効率的かつ集中的に配分する
- ✓ 取組の目的・内容を市民にわかりやすく発信し、
理解・共感を得ながら、市民とともにまちづくりを進める

戦略の章構成と市政運営の考え方

戦略の章構成

第1章 令和6年度市政運営の考え方

第2章 令和6年度における重要課題

第3章 9つの戦略の推進

第4章 今後の見通しと対応



重要課題を整理し、

▶ **「9つの戦略」**

を位置付け

課題・戦略・プロジェクト(案)一覧

	【重要課題】	【戦略】	【プロジェクト】
1	社会情勢の変化を踏まえた新たな課題への対応	喫緊の課題へ対応した持続的発展の推進	1. 物価・燃料高騰対策プロジェクト 2. 人手不足解消に向けた人材確保・育成プロジェクト
2	地域経済の更なる活性化に向けた対応	産業力を活かした経済活性化の推進	1. 地域経済の発展と産業力強化プロジェクト 2. ハマの活力を取り戻す水産業再興プロジェクト
3	持続可能な社会の実現に向けた対応	次代へつなぐ環境・社会・経済に配慮したグリーン・デジタル社会の実現	1. 未来を見据えたSDGs・グリーン社会推進プロジェクト 2. 次代を見据えたデジタル社会形成プロジェクト
4	魅力と活力あふれるまちの実現に向けた対応	個性豊かな魅力あるまちづくりの推進	1. 中心市街地賑わい創出プロジェクト 2. スポーツ・文化が有する力を活かしたまちの魅力創出プロジェクト 3. 魅力を活かした関係人口・交流人口拡大プロジェクト
5	安全安心で暮らしやすいまちの実現に向けた対応	安全安心で人にやさしいまちづくりの推進	1. 災害・危機に強い安全な地域づくり推進プロジェクト 2. 暮らしやすい住環境づくり推進プロジェクト
6	こどもの健やかな成長と豊かな学びへの対応	未来を創る子どもファーストの推進	1. 未来を拓くこども育みプロジェクト 2. みんなで子育て応援プロジェクト
7	誰もが活躍できる社会の実現と高齢化の進行への対応	多様な人々が活躍できる共生社会の実現	1. 誰もが活躍できる地域社会づくり推進プロジェクト 2. 誰一人取り残さない温かい社会づくり推進プロジェクト
8	連携による地域活性化と人材流出への対応	連携による活力創出と地元定着・人材還流の促進	1. 市民力と連携の相乗効果を活かした活力創出プロジェクト 2. 多くの人から選ばれる地域づくり推進プロジェクト
9	市民サービスの向上と行財政運営の効率化に向けた対応	市民目線のまちづくりの推進と自治体ガバナンスの強化	1. 市政への理解と共感を促す行政サービスの質の向上プロジェクト 2. 経営感覚を持った行財政改革推進プロジェクト

2023からの主な変更点①

重要課題1 社会情勢の変化を踏まえた新たな課題への対応

コロナ禍における取組を昇華しながら、時代の要請に応じた多様化する社会課題への対応を網羅する。

特に市民生活や市内企業の存続に大きな影響を与えている「物価・燃料価格高騰」と「人手不足」に対し、重点的に対応していく。

戦略及びプロジェクト

新型コロナウイルス感染症対策と コロナ禍前の日常の回復

- 1. 新型コロナウイルス感染症対策
プロジェクト
- 2. コロナ禍前の日常を取り戻す
プロジェクト

喫緊の課題へ対応した 持続的発展の推進

- 1. 物価・燃料価格高騰対策
プロジェクト
- 2. 人手不足解消に向けた
人材確保・育成プロジェクト

2023からの主な変更点②

重要課題6 こどもの健やかな成長と豊かな学びへの対応

「子どもの未来は社会の未来」の考えのもと、子どもファースト推進プロジェクトを独立させ、戦略として掲げる。

これまで進めてきた施策に加え、地域社会全体で子育てを応援する取組等を新たに加えながら、多層的に子どもファースト事業を展開していく。

戦略及びプロジェクト

子どもたちの明るい未来創出と 地元定着・人材還流の促進

- 1. 未来を創る子どもファースト推進プロジェクト
- 2. 多くの人から選ばれる地域づくり推進プロジェクト

未来を創る 子どもファーストの推進

- 1. 未来を拓くこども育みプロジェクト
- 2. みんなで子育て応援プロジェクト

2023からの主な変更点③

重要課題8

連携による地域活性化と人材流出への対応

多様な主体が連携することで、特に地域活性化や若者の地元定着・人材還流に効果的な取組の展開が期待されることから、「連携」を軸に課題を整理。

協働のまちづくり、産学官連携、自治体間連携など、さまざまな連携を強化しながら、若者や女性などの意見をより広く反映することで、効果の最大化を図っていく。

戦略及びプロジェクト

市民力と連携の相乗効果を 活かした地域の活力創出

1. 地域の総合力を高める
官民連携推進プロジェクト
2. 相互の強みを生かした
自治体間連携推進プロジェクト

連携による活力創出と 地元定着・人材還流の促進

1. 市民力と連携の相乗効果を
活かした活力創出プロジェクト
2. 多くの人から選ばれる
地域づくり推進プロジェクト

戦略1 喫緊の課題へ対応した持続的発展の推進

1. 物価・燃料高騰対策プロジェクト

13事業

- 倉庫業電気料金高騰対策支援事業【新規】
- 貨物自動車運送事業者燃料高騰対策支援事業【拡充】
- 農業水利施設電気料金高騰対策支援事業【新規】
- 子ども食堂等物価高騰対策支援事業【拡充】
- 再エネ・省エネ設備導入促進事業【新規】
- 学校給食食材費等高騰対策支援事業【拡充】

他

2. 人手不足解消に向けた人材確保・育成プロジェクト

16事業

- 産学官連携による八戸未来創造事業【新規】
- 民間路線バス運転手確保維持補助金事業【新規】
- 港湾物流効率化支援事業【新規】
- 地域企業支援体制強化事業【拡充】
- 八戸市社内人材育成支援事業【新規】
- 介護支援専門員資格取得・定着支援事業【新規】

他

産学官連携による八戸未来創造事業

八戸産学官連携推進会議とは

- 平成30年に発足した産・学・官の会議体
- 人材育成や若者定着等の課題について意見交換

令和6年度の取組

1. 八戸地域学

地元への理解や愛着醸成を図るため、高等教育機関
共通の講義として「八戸地域学」を開講する

2. 人材活用に関するニーズ調査

地元企業等が求める人材(外国人含む)のニーズを
把握し、地域のニーズを満たす人材の育成を進め、
地元企業への就職につなげる



港湾物流効率化支援事業

事業の背景・目的

物流の2024年問題への対応

人手不足
カーボンニュートラル

DXによる効率化・生産性向上
モーダルコンビネーション

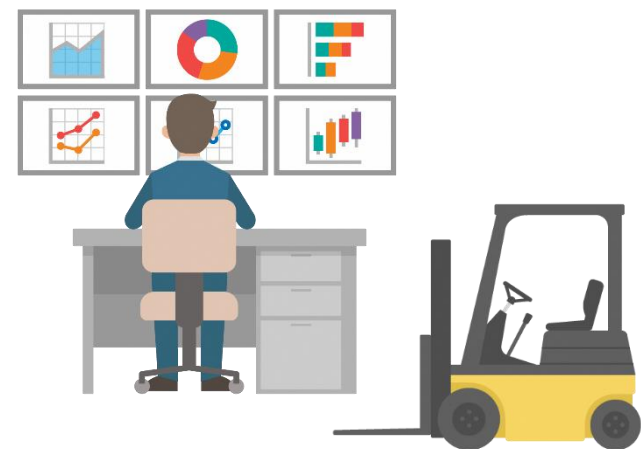
八戸は鉄道・港湾・空港・高速道路等、広域交通網の結節点

⇒ モーダルコンビネーションの適地

事業内容

事業者が実施する物流生産性向上に資する取組への補助

- ① IT技術の導入による荷待ち時間の短縮、輸送の効率化
- ② 自動フォークリフト等の導入
- ③ 運びやすい共通のパレット、コンテナ等の導入 etc

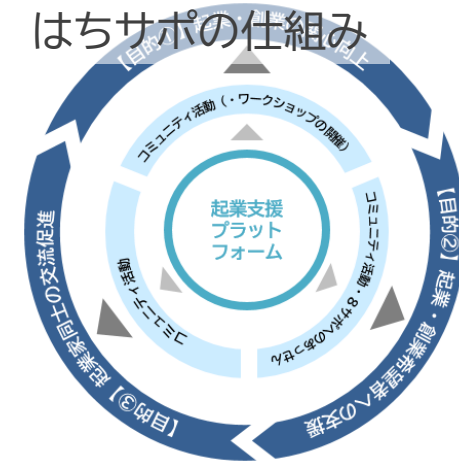


戦略2 産業力を活かした経済活性化の推進

1. 地域経済の発展と産業力強化プロジェクト

16事業

- はちのへ創業・事業承継サポートセンター運営事業【拡充】
 - 地域企業支援体制強化事業【拡充】
 - 計画経営導入促進事業【新規】
 - IT産業集積促進事業【拡充】
 - 企業誘致促進事業
 - 新産業団地整備・開発推進事業
- 他



2. ハマの活力を取り戻す水産業再興プロジェクト

4事業

- 水産業振興事業（八戸水産アカデミー運営事業）【拡充】
- 八戸漁港漁船誘致推進事業
- 水産物流通加工振興事業
- 養殖業成長産業化支援事業【新規】



養殖業成長産業化支援事業

事業の背景・目的

- 水揚げ量が減少する中、多様な水産資源の確保に向け、つくり育てる漁業の推進が必須
- 八戸水産アカデミー内に「つくり育てる漁業専門部会」を設置（令和4年度末）
- 当部会において、養殖業に関する講演会や先進地視察を実施（令和5年度）

養殖産業の振興による、**水産業全体の成長産業化**を目指す

事業内容

- ① 既存養殖事業者の経営安定化
- ② 新規事業者の養殖業への参入の支援



戦略3

次代へつなぐ環境・社会・経済に配慮した グリーン・デジタル社会の実現

1. 未来を見据えたSDGs・グリーン社会推進プロジェクト

5事業

- SDGs情報発信・啓発事業
- 海洋ゴミ回収事業
- 地球温暖化対策理解促進事業
- 脱炭素化推進事業
- 再エネ・省エネ設備導入促進事業【新規】



2. 次代を見据えたデジタル社会形成プロジェクト

10事業

- はちのへAI(アイ)中心街・バス活性化事業
- いきいきとしたデジタル社会推進事業
- 八戸市窓口業務改革プロジェクト【新規】
- 健康はちのへ21ポイントアプリ事業
- GIGAスクール構想推進事業
- 教育の情報化推進事業

他



再エネ・省エネ設備導入促進事業

事業の背景・目的

燃料価格高騰に伴うエネルギー価格の上昇

温室効果ガス排出量削減

再生可能エネルギー設備・省エネルギー設備の導入

エネルギー費用の負担軽減

2050年カーボンニュートラル達成

事業内容

太陽光発電設備・蓄電池・高効率空調機器の導入支援

- ① 自家消費型再生可能エネルギー設備導入支援
住宅又は事業所に設置する太陽光発電設備及び蓄電池の導入費用の一部を補助
- ② 省エネルギー設備導入支援
住宅又は事業所に設置する高効率空調機器の導入費用の一部を補助

八戸市窓口業務改革プロジェクト

事業の概要

申請手続きのデジタル化、業務効率化による時間・コストの削減

① 書かない・待たない・来ない窓口サービスの導入

書かない (No Paperwork) ～ 本庁・各サービスセンター・事務所窓口 ～



待たない (No Waiting) ～ 自宅 → 本庁・各サービスセンター・事務所窓口 ～



来ない (No Visiting) ～ 自宅で完結 ～



② 庁内業務の効率化

③ 庁舎レイアウト最適化

時間: 約16,600時間/年

コスト: 約30,000千円/年 削減



若手デジタルイノベーションチームを中心に検討

戦略4 個性豊かな魅力あるまちづくりの推進

1. 中心市街地賑わい創出プロジェクト

9事業

- 中心市街地商業等活性化事業【拡充】
- 中心街ストリートデザイン事業
- 三日町・十三日町街区イベント開催支援事業
- マチニワイイベント支援事業
- 無電柱化推進事業
- 都市計画道路3・5・1号沼館三日町線整備促進事業 他



中心市街地商業等活性化事業

2. スポーツ・文化が有する力を活かしたまちの魅力創出プロジェクト

9事業

- はちのハート広場事業【拡充】
- 文化事業と商業機能との連携事業
- 八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進事業
- 新体育館整備事業
- 5館連携アートプロジェクト事業
- 図書館150周年記念事業【新規】

他



アート広場事業

戦略4 個性豊かな魅力あるまちづくりの推進

3. 魅力を活かした関係人口・交流人口拡大プロジェクト

9事業

- VISITはちのへ活動支援事業【拡充】
- 八戸都市圏交流プラザ運営事業
- 全国朝市サミット開催支援事業【新規】
- 八戸市観光振興プラン策定事業【新規】
- グリーン・ツーリズム事業【拡充】
- 「八戸三社大祭の山車行事」指定20周年事業【新規】 他

農業体験の様子



全国朝市サミット開催支援事業

全国朝市サミットとは

- 全国の14の朝市が連携し、朝市活性化及び地域振興を図る目的で開催するイベント
- 八戸市での開催は平成27年以来、2回目。



全国朝市サミット協議会加盟団体図



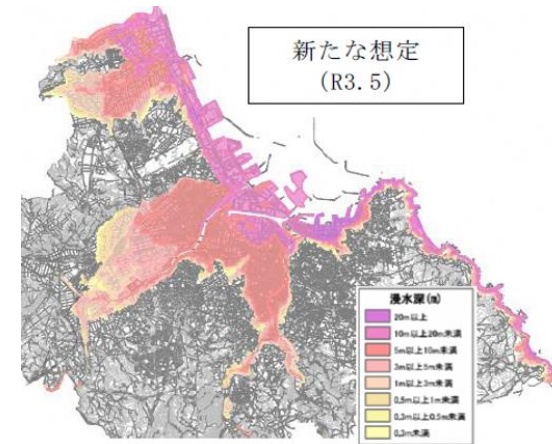
令和6年10月19日(土)、20日(日)開催予定

戦略5 安全安心で人にやさしいまちづくりの推進

1. 災害・危機に強い安全な地域づくり推進プロジェクト

16事業

- 津波避難施設の整備等に関する基本方針策定事業
 - 津波避難誘導標識等整備事業【拡充】
 - 避難所運営体制の整備事業【拡充】
 - 児童館・児童センターエアコン設置事業【新規】
 - 都市計画道路3・4・11号八戸大通り線整備促進事業【新規】
 - 地区公民館エアコン設置事業【新規】
- 他



2. 暮らしやすい住環境づくり推進プロジェクト

12事業

- 八戸圏域地域公共交通計画推進事業
 - JR八戸線利活用事業【新規】
 - 空き家等管理対策事業【拡充】
 - 空き家活用・住みかえ支援事業【拡充】
 - 八戸駅前広場整備事業【新規】
- 他



八戸駅前広場整備事業

- 供用開始から30年が経過した八戸駅前東口広場の再整備を行うもの
- 令和3年度より整備方針の検討を開始し、令和8年度の工事着手を目指す
- 令和6年度は現地測量、令和7年度は実施設計を予定



戦略6 未来を創る子どもファーストの推進

1. 未来を拓くこども育みプロジェクト

17事業

- マチナカまるっと一日体験事業【新規】
- 文化芸術推進事業【拡充】
- アートファーマープロジェクト【拡充】
- こどもの声を聴く機会創出事業【新規】
- 小・中学校スポーツ・文化的活動支援事業【拡充】
- 児童科学館改修事業(プラネタリウム) 他



2. みんなで子育て応援プロジェクト

30事業

- 赤ちゃんお出かけ応援事業【新規】
- こども誰でも通園制度試行的事業【新規】
- 子ども医療費助成事業【拡充】
- 親子交流支援事業【新規】
- 小児慢性特定疾病通院費助成事業【新規】
- コミュニティ・スクール推進事業【拡充】

他



こどもの声を聴く機会創出事業

こどもはともに社会を創るパートナー ⇒ 「こどもの意見」をこども施策に反映する

《こども》

特定のテーマを
あつかう



こどもモニター制度
(小5～高3)

アンケート



意見・感想



こどもまちなかIT部
(中高生)

交流しながら自らの発想を持って活動

基礎知識レクチャー
サポート



テーマの
限定なし

こども版 市ホームページ

(掲載例)

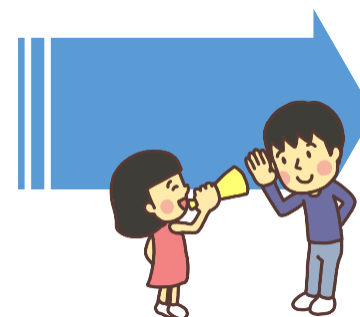
- ▶ 八戸の魅力(八戸の良いところ)
- ▶ 中高生が興味をもちそうなもの
- ▶ 部員が発信したいこと

《おとな》

市各課
(こどもの意見反映)

庁内関係課
+
IT部サポートチーム
(八戸工業大学)

こどもの意見や
考えていることを知
ることができる



児童科学館改修事業(プラネタリウム)

事業目的・内容

- 開館から43年以上経過した児童科学館を、時代のニーズに応えた魅力ある施設としてリニューアルする

スケジュール

令和 5 年度

- ◆ エアコンの改修
- ◆ トイレの改修
- ◆ 展示等リニューアルの基本計画策定

令和 6 年度

- ◆ プラネタリウムの改修
- ◆ 展示等リニューアルの設計業務

令和 7 年度

- ◆ 展示等リニューアル

子ども医療費助成事業

事業目的・内容

子どもの健康の保持・増進、子育て世帯の経済的負担軽減

- 対象外だった **高校生等※1の通院時の医療費**を助成
- 拡充後は、**未就学児から高校生等までの医療費が完全無償化へ※2**

※1：18歳に到達した最初の3月31日までが対象

※2：入院の差額ベッド代や食事代、文書料、健康診断料、予防接種料等、保険給付とならないものは助成対象外

【所得制限を撤廃】

令和6年1月診療分から

所得制限なし	
未就学児 小・中学生	入院＋通院
高校生等	入院のみ

【高校生等の通院を拡充】

令和6年10月診療分から

所得制限なし		
未就学児 小・中学生	入院＋通院	
高校生等	入院	＋ 通院

拡充

戦略7 多様な人々が活躍できる共生社会の実現

1. 誰もが活躍できる地域社会づくり推進プロジェクト

16事業

- 八戸市まちの魅力創生ネットワーク会議運営事業
- 女性チャレンジ講座開催事業
- 若者マチナカ会議運営事業
- 認知症サポーター養成・活動促進事業
- 鷗盟大学運営事業
- 手話言語条例制定5周年記念イベント開催事業【新規】 他



2. 誰一人取り残さない温かい社会づくり推進プロジェクト

9事業

- 地域包括支援センター運営事業
- 介護予防センター運営事業
- 介護予防・日常生活支援総合事業【拡充】
- 介護の仕事理解促進事業【拡充】
- 外国人介護人材受入施設等環境整備事業【新規】
- がん患者医療用補整具購入費助成事業

他



介護の仕事理解促進事業

八戸市まちの魅力創生ネットワーク会議運営事業

事業目的・内容

若者や女性にとって魅力あるまちの実現

- 若者・女性の目線から、市長に対して政策提言を行う「八戸市まちの魅力創生ネットワーク会議」を運営する。



令和5年9月 提言書を市長へ提出

【政策提言のテーマ】

将来を夢見る8年間で、

わたしの翼になる

⇒ 提言を踏まえ、17事業を戦略に掲載



戦略8 連携による活力創出と地元定着・人材還流の促進

1. 市民力と連携の相乗効果を活かした活力創出プロジェクト

11事業

- 連携中枢都市圏推進事業
- はちとまネットワーク推進事業
- 八戸産学官連携推進事業【拡充】
- 協働のまちづくり研修会の開催事業
- 「地域の底力」実践プロジェクト促進事業
- 八戸市連合町内会活動活性化交付金事業【新規】 他



連携中枢都市圏講演会

2. 多くの人から選ばれる地域づくり推進プロジェクト

8事業

- 移住・交流促進事業
- シティプロモーション推進事業
- 地元企業ファンづくりプロジェクト事業
- 地域事業所人材獲得等支援事業
- 高校生による地元企業魅力発見体験事業【拡充】 他



地元企業魅力発見体験事業

はちとまネットワーク推進事業

はちとまネットワークとは

- 八戸市と苫小牧市で構築しているネットワーク
 - 都市の特徴が類似しており、様々な取組で協力
- 【連携項目の例】
- ✓ フェリー航路を活用した交流人口の拡大
 - ✓ 海外コンテナ航路開設等による物流機能の強化

最近の動き

令和6年1月 苫小牧市を視察

東開文化交流サロン



苫小牧CCS実証試験センター



- 物流の2024年問題
- 交流人口拡大
- 2050年カーボンニュートラル

お互いの課題解決に向けて

一層連携を強化

戦略9 市民目線のまちづくりの推進と 自治体ガバナンスの強化

1. 市政への理解と共感を促す行政サービスの質の向上プロジェクト

9事業

- 市長との公民館サロン開催事業
- 市政情報発信力の強化事業
- 行政組織活性化事業
- 行政手続オンライン化推進事業
- ICT活用による業務効率化推進事業
- 八戸市窓口業務改革プロジェクト【新規・再掲】
- 他

市長室ダイアログの様子



2. 経営感覚を持った行財政改革推進プロジェクト

6事業

- 公共施設有効利用促進事業
- 公共施設長寿命化推進事業
- 第8次行財政改革大綱策定事業【新規】
- 職員研修事業
- 民間企業との交流事業
- 入札・契約制度適正化推進事業

民間企業との交流事業



市長との公民館サロン開催事業

事業の目的・内容

住みやすい「市民目線のまちづくり」の実現

地域の現状や地域課題、振興策について、市長と地域住民が気軽な雰囲気に対話する。

⇒ 令和4・5年度で**全25地域終了**

- 地域の課題を担当部署へ共有し、進捗把握
- 開催方法、意見交換のテーマ等内容の検証

令和6年度取組

- 課題解決に向けた継続的な取組
- 市長と地域住民のネットワークの構築
- 検証結果を踏まえた充実した公民館サロンの実施



第三魚市場荷捌き所A棟について

1 経緯

平成18年	8月	八戸漁港検討会議 組織
20年	2月	八戸漁港流通構造改革拠点漁港整備事業基本計画 国より承認
22年	3月	工事着手
23年	3月	(完成後) 東日本大震災により被災
24年	2月	災害復旧事業着手
24年	9月	復旧完了
24年10月		供用開始
27年	3月	対EU輸出水産食品取扱市場 産地市場で国内初の登録
29年	3月	第1回改善計画 策定(改善期間:平成29~31年度)
令和3年	3月	第2回改善計画 策定(改善期間:令和3~5年度)

2 整備費内訳

	国費	市費	計
当初建設工事費	10億8,370万1,950円	11億 165万2,500円	21億8,535万4,450円
災害復旧事業費	9億3,056万3,000円	1億6,225万1,800円	10億9,281万4,800円
計	20億1,426万4,950円	12億6,390万4,300円	32億7,816万9,250円

3 利用実績

年度	魚種	漁港全体	うちA棟					
		まき網漁船 水揚げ数量	計画数量	水揚げ数量	計画数量に 対する割合	延べ 隻数	収入 (千円)	支出 (千円)
H24	さば	40,025トン	31,200トン	105トン	0.3%	4隻	232	19,000
H25		40,814トン		181トン	0.6%	3隻	80	50,000
H26		46,553トン		706トン	2.3%	7隻	260	50,000
H27		54,424トン		1,644トン	5.3%	14隻	550	46,000
H28		38,513トン		1,221トン	3.9%	9隻	300	72,000
H29		40,660トン		2,305トン	7.4%	23隻	600	116,000
H30		37,540トン		1,540トン	4.9%	11隻	1,420	68,000
H31		17,045トン		383トン	1.2%	2隻	1,070	57,000
R02		19,591トン		1,152トン	3.7%	17隻	750	56,300
R03	計	27,555トン	21,000トン	1,165トン	5.5%	33隻	605	64,500
	さば	8,921トン		382トン	3.7%	6隻		
	いわし	18,634トン		783トン	7.3%	27隻		
R04	計	12,268トン		451トン	2.1%	4隻	340	63,800
	さば	1,760トン		127トン	1.2%	2隻		
	いわし	10,508トン		324トン	3.0%	2隻		
R05	計	22,562トン		116トン	0.6%	2隻	-	-
	さば	3,026トン		116トン	1.1%	2隻		
	いわし	19,536トン		0トン	0%	0隻		
累計		397,550トン		10,969トン	-	129隻	6,207	662,600

4 稼働率向上に向けた取組

(1) 荷捌き所A棟稼働率向上検討会（平成28年度～）

- ・検討会を11回、下部組織である実行部会を15回開催。

(2) 第1回改善計画（平成29～31年度）

- ・対象漁船の拡大
- ・スカイタンクの増設による漁船の拘束時間の短縮
- ・徹底的な試運転とバックアップ体制の充実 など

(3) 第2回改善計画（令和3～5年度）

- ・対象魚種の拡大
- ・水揚げ状況の動画配信による卸売業者及び買受人の利便性向上
- ・八戸市水産物ブランド戦略会議と連携し、A棟さばを使用した加工品の開発支援 など

(4) 漁船誘致活動

- ・市単独による船主等の生産者訪問活動（平成28年度～）
- ・八戸漁港漁船誘致推進委員会による船主等の生産者訪問活動（令和4年度～）

5 今後の運用方針

これまで2回の改善計画を策定し、様々な改善方策に取り組んできたものの、目標数量の達成には至っていないこと、また、現在の漁模様から、今後の稼働も厳しいことが想定されることから、A棟の今後の運用方針を次のとおりとする。

- ・A棟建屋は、今後も荷捌き所として活用し、水揚げ方法は、フィッシュポンプによるものから、第一魚市場と同様、たも網によるものに転換する。
- ・水揚げ方法の転換により、フィッシュポンプのほか建屋内部の魚体搬送設備を撤去するとともに、建屋は高度衛生管理を維持するために必要な改修を実施する。
- ・令和5年度末時点で財産処分年限が未到来の機器は、当該分の国庫補助金を国に返還する。

6 予算

(1) 維持管理経費

【単位：千円】

会計区分	歳出区分	5年度当初 (a)	6年度当初 (b)	増減 (b)-(a)	内容
特別	旅費	808	414	△394	国・県との協議
	需用費	25,853	5,454	△20,399	光熱水費
	役務費	834	756	△78	受水槽清掃、上水・井水検査等
	委託料	37,633	3,159	△34,474	浄化槽維持管理、電気保守点検等
	使用料及び賃借料	1,007	0	△1,007	
	原材料費	165	0	△165	
	計	66,300	9,783	△56,517	

(2) 改修等経費

会計区分	歳出区分	5年度当初 (a)	6年度当初 (b)	増減 (b)-(a)	内容
一般	償還金利子及び割引料	0	2,952	2,952	補助金返還金
特別	委託料	0	8,720	8,720	A棟建屋改修の設計
	工事費	0	49,000	49,000	魚体搬送設備の撤去
	計	0	60,672	60,672	